

ディズニーランド誕生秘話

ディズニーランドの生みの親、ウォルト・ディズニーはアメリカのイリノイ州シカゴで産まれました。2人の娘を持ったウォルトは、子どもたちを連れて遊園地やカーニバル・動物園などによく遊びに行ったそうです。しかしある時、回転木馬で遊んでいる娘たちを見ながら、自分はベンチでポツンと座っていることに疑問を持ち、こう思ったそうです。「なぜ、子どもたちは楽しめているのに大人は子どもと一緒に楽しむことができないのだろうか？」

この疑問こそがディズニーランド計画の第一歩になったそうです。そしてこの計画は15年以上の年月をかけ、1955年7月18日に世界初のディズニーランドであるカリフォルニアディズニーランドリゾートが誕生しました。ウォルト・ディズニーは存命中にこんな言葉を残しています。「ディズニーランドは永遠に完成しない。世界に想像力がある限り成長し続けるだろう」

2021年＜丑年＞山桜年賀状デザイン集

毎年ご好評をいただいております「山桜の年賀状デザイン集 2021 丑歳」が今年も発売になりました。

2021年版の大きな特徴は3つ

- ① 賀詞文章の大幅リニューアル
- ② 過去のデザイン集の人気デザインの再収録
- ③ DTPオペレーターの皆さんに好評の文字入れしやすいデザイン

■CD-ROM 3枚組（MAC/WIN 対応ハイブリッド版） 標準本体価格 6,200 円（税別）

カラー 100 点 / モノクロ（グレースケール）80 点 / 喪中 10 点

収録ファイル形式：(EPS) Illustrator10 以上 / Word2013 以上 / BMP

対応 OS：Mac OS 9.1 以上・Windows 8.1 以上

※ご購入特典として WEB ダウンロードが無料でご利用いただけます。

なお諸般の事情により、同じくご愛用いただいております〈デザイン版下集〉は、販売を終了させていただきました。長年にわたるご愛顧ありがとうございました。

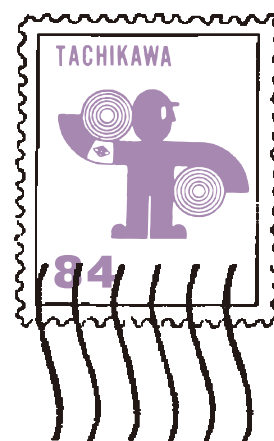
詳しい内容等については（株）山桜〈TEL 03-5543-6321〉までお問い合わせください。

お願い

弊社では、この夏も節電対策の一環として「クールビズ(軽装)」を実施させていただいております。お客様担当者・内勤者ともにノーネクタイでお客様にお目にかかります。

“服装の乱れは心の乱れ”と言われますが、お客様が不快にお感じにならないよう配慮してまいります。何卒ご理解ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

期間：5月1日～10月20日



発行／株式会社 立川紙業 〒190-0023 立川市柴崎町2-7-6 / TEL：042-527-6111(代)
FAX：042-528-0080 / HP：www.kami.jp / MAIL：tp@kami.jp



見直される働き方

坂内 琢

新型コロナウイルスによる緊急事態宣言のなか、感染拡大を防ぐためにステイホームでこの原稿を書いています。(5/18現在)

外回りをずっとしてきた私にとっても初めての経験です。それはすべての読者の皆さんも同じことだと思います。緊急事態宣言による経済への急ブレーキにより、私たちの仕事も大打撃を受けています。お客様と会社の懸け橋となる営業という仕事を22年間続け、今回の新型コロナウイルスの感染という目に見えない脅威により、本業であるお客様の元へお伺いできないという最大の壁にぶつかりました。

様々な企業で、在宅勤務いわゆるテレワークが行われています。とにかくこれまでに経験のないことなので、実際に社会や経済が通常通り動き出した時に、果たしてどれだけ対応できるのか？全くわかりませんが、一部ではこの新型コロナウイルスの脅威が去った後もテレワークが残るのではないかと話も聞かれます。

紙の販売だけでなく、紙に付随する様々な加工をしてお客様のお手伝いをさせていただいている私たちには、正直なところ少し距離を感じるシステムです。しかしこの先定期的にお客様にお伺いする営業マンという存在自体が、本当に必要とされるのだろうか？ということが頭をよぎります。

この緊急事態宣言による活動自粛のなか、この先必要とされる営業スタイルとはどのようなものなのか。お客様に「この人に頼みたい」と思っていただけのような存在になるにはどうすべきか。いつのことになるかわかりませんが、新型コロナウイルスの収束後の営業スタイルを考えたいと思います。また働き方改革などの問題にもあるように、今までの働き方がベストと決めつけず、常に疑問を持ち効率も念頭に置き、今後の営業活動に活かしていきたいと思います。

(弊社営業2課長)

晒クラフト
H判 65kg
を使用しています。

業界の動き

AI(人工知能)でデータ入力を効率的に
AI OCR『AIRead』(エーアイリード)

ここ数年で飛躍的な進歩を遂げているAI(人工知能)。様々な分野での活用が期待されていますが、一般の事務作業で行われるデータ入力業務においても「AI OCR」というかたちでAIの活用が始まっています。

OCR(Optical Character Reader)とは、画像データから文字部分を認識し、データに変換する光学文字認識機能です。具体的には、紙文書をスキャナーで読み込み、書かれた文字を認識しデジタル化する技術です。

人間は、紙に書かれた文字を無意識に理解できますが、コンピューターは自動的に読み取ることができません。そのため、紙に書かれた文字をデータ化するには、一度、人間が読み取りパソコンでデータに入力する作業が必要となります。しかし、単純に文字を入力する作業は非常に効率が悪く時間がかかります。この作業を代わりにしてくれるのがOCRです。

「AI OCR」とは、OCRにAIの技術を活用したものです。AIの技術を用いることで、文字認識率の向上や、読

み取りたい項目の指定をせずにデータ化ができるようになりました。

アライズイノベーション(株)が開発・販売するAI OCR『AIRead』もその一つです。手書きの文字認識はもちろん、体裁が定まっていない、データの位置が可変の文書でも、AIが読み取りたい項目を見つけ出しデータ化することができます。

従来手作業で行っていた紙からの入力作業を効率化し、生産性を高めることが可能です。『働き方改革』の手段として、検討してみてはいかがでしょうか。



今月の使用紙 晒クラフト

今月の TP 通信は北越コーポレーション(株)の「晒クラフト」を使用しています。

肌が平滑で、紙力が強く、白色度に優れ、印刷適性や製袋適性等の諸条件を十分に備えています。ショッピングバッグ、各種封筒、紙器、貼合紙、一般包装、荷札等に使用されています。

北越コーポレーション(株)の「晒クラフト」は、晒クラフトのトップブランドとして、紀州製紙時代から長年にわたりご好評をいただいています。

■規格

寸法	H/T.Y	46/T.Y
g/m ²	連量 (kg)	
50	54	43
60	65	51.5
70	75.5	60
80	86.5	69
100	108	86
120	129.5	103

特別訪問記

今どきのキャンプ事情

昨今のアウトドアブームやキャンプブームに乗じて、当TP通信編集室のスタッフも数年前からキャンプグッズを購入しはじめ、実際に今回の新型コロナウイルス騒動が始まる直前、朝晩はまだ冷え込むシーズンオフ(笑)のキャンプ場に出かけてきました。

今月はキャンプグッズやキャンプ場での楽しみ方など最近は劇的に変化している今どきのキャンプの世界をのぞき、その様子をご紹介します。

皆さんまずは『グランピング』という言葉に耳にしたことはありませんか? グランピングとは「グラマラス」と「キャンプ」が掛け合わさってできた造語です。テント設営や火おこしなどの煩わしい事柄を取り除いた(それが楽しみの一つじゃないか! という方も多いでしょう)海外生まれのアウトドアスタイルで、主に女性の方がメインで楽しまれているようです。今まではキャンプ場を訪れる機会が少なかった女性も、手ぶらで現地に行き、テント設営などの下準備の時間もないグランピングは新たなアウトドアの楽しみ方の一つになっているようです。

キャンプを楽しまれる方が多くなればマナーの悪い人も増えているようで、キャンプ場も昔とは違うルール作りをしているところもあるようです。以下はその一例です。

■【焚火はOK!でも直火は禁止!】

私は焚火をすることが大好きです。火を熾している時間も温まっている時間もどちらも好きです。かつては足場が土や砂利の場所が多かったキャンプ場ですが、今は芝生のキャンプ場も増えてきています。直火をすれば芝生が燃えてしまうのは当然ですが、砂利や土の上でも後片付けをしないキャンパーが増えてきているため直火を禁止しているキャンプ場が多いようです。直火禁止の

キャンプ場でも火床を高い位置にできる「焚火台」を使用すれば焚火は可能です。

■【車やバイクは最徐行で!】

キャンプは荷物が多いから行きたくない、手間がかかると敬遠されがちですが、最近のキャンプ場はキャンプサイトごとに駐車スペースがあり、車の横にテントを張り荷物をスムーズに移動できます。このように車とセットで楽しむキャンプのことを「オートキャンプ」と呼びます。近年のオートキャンプ場は設備がとて充実しておりトイレ・シャワー、コンセントも備え付けてあります。ファミリー層に人気で子どもたちも多いため場内の車の移動には細心の注意が必要です。

■【道具類の画期的進化!】

Coleman・snow peak・UNIFLAME・mont-bell・CAPTAIN STAG・小川キャンパル(旧社名:小川テント)等々、専門店で足を運ぶと、今や国内外のメーカーが次々とシーズンごとに新商品を発売し、しかも年々開発される“新素材”などと融合して進化し続け、その勢いは今やとどまることを知りません。テント・テーブル・チェア・調理器具・ランプ類…、キャンプはまずは道具選びから!どのメーカーもWEBサイトが充実しているので、一度のぞいてみてはいかがでしょうか。そしてお気に入りのツールを賢くお選びください。

コロナウイルスの影響で外出自粛をされている方も多いと思いますが、自粛明け最初のお出かけにキャンプを楽しんでみてはいかがでしょうか。

